

黄砂に関する営農技術対策

平成 14 年 3 月 22 日

北海道農政部

3月21日夜からの強い風により北海道でも広範囲に黄砂を観測しました。農作物に対する直接的な影響はありませんが以下の事項に注意してください。

1 黄砂とは

中国内陸及びモンゴルの乾燥地帯由来の細かい土壌粒子で、腐植を含まず、日本の土壌で不足している塩基成分に富む。(別添[北海道環境科学研究センターニュース](#)(平成2年)参照)

2 施設等における対策

育苗ハウスなどビニールハウスでは、ビニールに付着した黄砂により光の透過率が大きく低下するので、たっぷりの水で洗い流す。

なお、布やブラシでのふき取りや少量の水ではビニールやガラスを傷つけるので注意する。

3 水田、畑地、牧草地等

今のところ、降水量が微量であることから土壌肥沃度に影響はない。

4 果樹

今のところ、降水量が微量であることから影響はない。ハウスぶどう等については、施設に準ずる。